

利用施設情報 ー展示・イベントのご案内ー

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
＜金沢地域＞					
金沢	いしかわ赤いがミュージアム 石川県立歴史博物館	常設展 「石川県の歴史と文化」	通年	石川県の旧石器時代から近代までを、考古・歴史・民俗資料を使って、わかりやすく展示しています。	076-262-3236
金沢	石川県金沢港 大野からくり記念館	メルヘン色彩画展 「坂田久男の世界」	令和6年4月4日(木) ～5月14日(火)	画家 坂田久男 氏の作品展示	076-266-1311
金沢	石川県金沢港 大野からくり記念館	親子体験教室	① 令和6年4月21日(日) ② 令和6年5月19日(日) ③ 令和6年6月9日(日) ④ 令和6年6月23日(日)	① ペンギン君を作ろう ② シゲちゃんのからくり箱を作ろう1 ③ とっておきの和菓子を作ろう1 ④ 組子でコースターを作ろう1 時間：各 10:00～ ※各教室はそれぞれ1ヶ月前から電話でのみ申込を受付します。 (定員になり次第締切)	076-266-1311
金沢	石川県金沢港 大野からくり記念館	企画展 大野弁吉「一東視窮録」 を読む	令和6年6月6日(木) ～7月9日(火)	—	076-266-1311
金沢	石川県金沢港 大野からくり記念館	常設展	通年	金沢市大野町に住み活躍した幕末の科学技術者・からくり師 大野弁吉の業績を紹介するとともに、近代技術のあけぼのを代表する「からくり」の世界を様々な展示。からくり仕掛けの謎解きパズルなどのコーナーを併設。	076-266-1311
金沢	石川県銭屋五兵衛 記念館・銭五の館	四季彩グループ展	令和6年4月2日(火) ～30日(火)	—	076-267-7744
金沢	石川県銭屋五兵衛 記念館・銭五の館	村本可折教室展	令和6年5月2日(木) ～31日(金)	—	076-267-7744
金沢	石川県銭屋五兵衛 記念館・銭五の館	第51回 銭五茶会(春)	令和6年5月19日(日)	【本 席】 8:30～14:00 銭五の館 【野点席】 9:00～15:00 銭屋五兵衛記念館	076-267-7744
金沢	石川県銭屋五兵衛 記念館・銭五の館	楠 真理子他作品展	令和6年6月2日(日) ～30日(日)	—	076-267-7744
金沢	いしかわ生活工芸ミュージアム (石川県立伝統産業工芸館)	企画展 「工芸で彩る “春ものがたり”」	令和6年3月15日(金) ～5月13日(月) 9:00～17:00 (最終日は15:00 終了)	陶芸、漆芸、金工、木工、染織、ガラスなど多彩な業種で“春ものがたり”を演出します。桜で賑わいを見せる春爛漫の景色もあれば、キラキラ輝く水面の景色、動植物の活発な動きや芽吹きも“春ものがたり”の1ページとなります。ストーリーを感じさせる作品展開や、作家たちの対象物に寄せる想いや自らの心象風景などレパートリーの広い作品展示です。スタートラインに立つ方や、石川の地に思いを寄せる方々に、フットひと呼吸して楽しんでいただきたい企画展です。 入場：無料 1F ギャラリー ※3月は毎週木曜日休館、4月から第3木曜日のみ休館	076-262-2020
金沢	いしかわ生活工芸ミュージアム (石川県立伝統産業工芸館)	企画展 「美を彫る」	令和6年3月15日(金) ～5月13日(月) 9:00～17:00 (最終日は15:00 終了)	木や石、金属といった素材に文字や模様などを刻み込む。また、木や石を削って像を作る等“彫る”作業から生まれる工芸の奥深く深淵な美の世界を探ります。輪島塗沈金や加賀象嵌、金沢仏壇の箔彫や木彫刻、刻字、木工の我谷盆など、“彫る”作業から生まれた美しくも力強い作品を、制作道具や作家プロフィールと共にご紹介致します。職人や作家たちの熱量を感じ取っていただければ幸いです。 入場：有料 2F 第4 展示室 ※3月は毎週木曜日休館、4月から第3木曜日のみ休館	076-262-2020
金沢	いしかわ生活工芸ミュージアム (石川県立伝統産業工芸館)	企画展 「きもちとかたち」	令和6年5月17日(金) ～7月15日(月・祝) 9:00～17:00 (最終日は15:00 終了)	本展は(公財)石川県デザインセンターが主催する「石川県デザインセンター選定商品事業」で昨年度選ばれた商品をご紹介します。これらは「いしかわの伝統と新しい感性」というコンセプトのもとに選ばれたもので、石川のものづくりの伝統を受け継ぎ、新しい生活を提案するデザイン性の優れた商品として普及し、新たな販路開拓を目指しています。企業や作家たちのアイデアや個性に溢れた作品をお楽しみください。 入場：無料 1F ギャラリー ※6月20日は休館	076-262-2020

利用施設情報 — 展示・イベントのご案内 —

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
金沢	いしかわ生活工芸ミュージアム (石川県立伝統産業工芸館)	企画展 「編む一手仕事の妙—」	令和6年5月17日(金) ～7月15日(月・祝) 9:00～17:00 (最終日は15:00終了)	古来より生活道具の材料として親しまれてきた竹や檜、藤、また和紙が原料の水引などは現在も連綿として使われ、様々な変化に富んだ作品を生み出しています。農作業に使用されてきた物から日常生活へ、更に芸術的な要素が加味されておしゃれな逸品へとカタチを変えてきたものもあります。本展では、竹工芸、檜細工、藤工芸、水引細工の作家たちが、材料の1本1本に真心を込めて編んだ作品の数々をご紹介します。想いが伝わる手仕事の妙をご堪能ください。 入場：有料 2F 第4展示室 ※6月20日は休館	076-262-2020
金沢	いしかわ生活工芸ミュージアム (石川県立伝統産業工芸館)	いつでも出来る工芸体験	通年 [受付] 9:00～11:00 13:30～16:00 ※5名様以上の場合は 事前にご予約ください。	石川の伝統工芸を気軽に体験していただけます。 ※入館料は別途必要。 ①蘭細工 費用：400円 体験所要時間：30分 ②水引ボチ袋 費用：400円 体験所要時間：30分 ③組子のコースター 費用：1000円 体験所要時間：30分 ④太鼓の端材でつくるカスタネット 費用：600円 体験所要時間：30分	076-262-2020
金沢	石川四高記念文化交流館 (石川近代文学館)	常設展内特別展示 「北陸新幹線 石川県内全線開業記念 加賀生まれの作家たち」	令和6年3月9日(土) ～4月14日(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)	北陸新幹線石川県内全線開業となる3月16日に先駆け、当館常設展示作家の中から加賀地方の雄大な自然に育まれた多彩な才能を持つ10人の作家をご紹介します。	076-262-5464
金沢	泉鏡花記念館	企画展 新聞原紙で読む 「山海評判記」	令和6年2月22日(木) ～5月19日(日)	鏡花×柳田×雪岱の世にも稀なるコラボ作品！ 能登・和倉温泉を舞台に小説家・矢野龍渓に忍び寄り怪異を描いた「山海評判記」。盟友・柳田國男を介して知ったオシラ神信仰を背景に、絵師・小村雪岱の面妖な挿絵付きで「時事新報」に125回にわたって連載されたこの鏡花随一の怪作を、初出紙とともにご堪能いただけます。 休館日：火曜日(祝日の場合は翌平日) ※開館状況につきましては、事前に公式HP等でご確認ください。	076-222-1025
金沢	金沢市立 中村記念美術館	企画展 「春の旅立ち」	令和6年3月2日(土) ～5月12日(日)	北陸新幹線の金沢～敦賀間開業を記念した“旅”がテーマの展覧会。旅や名所にまつわる絵画、工芸作品、茶道具を展示します。 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-221-0751
金沢	金沢市立 中村記念美術館	「旧中村邸」春の一般公開	令和6年4月27日(土) ～5月6日(月・祝)	昭和初期に建築された「旧中村邸」(金沢市指定保存建造物)を、期間中特別公開いたします。 休館日：4月30日(火)	076-221-0751
金沢	金沢市立 中村記念美術館	企画展 「ふたつの愉しみ ～異国の器と日本の書～」 (仮題)	令和6年5月18日(土) ～7月21日(日)	休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-221-0751
金沢	金沢蓄音器館	蓄音器の聴き比べ	通年 11:00～14:00～16:00～	エジソンの発明した蓄音器をはじめ、大正から昭和初期の日本製のものやイギリス・アメリカ製の蓄音器を実際にお聴きいただけます。	076-232-3066
金沢	金沢ふるさと偉人館	子ども作品展 「第19回 名前一文字展」	後期 令和6年3月16日(土) ～4月7日(日)	幼児から小学生までの子どもたちが、大切な自分の名前から好きな「一文字」を選んで、自由に表現した作品を展示します。前期では「年長、小学2・4・6年生」、後期では「年中以下、小学1・3・5年生」の作品を展示します。	076-220-2474
金沢	金沢ふるさと偉人館	館蔵品展 「いじんコレクション 大公開！」	令和6年4月20日(土) ～8月25日(日)	常設展示以外にも、偉人館にはたくさんの偉人にまつわる資料が収められています。多数の収蔵品の中から学芸員が「コレ!!!」と選んだ「いじんコレクション」を紹介します。	076-220-2474
金沢	金沢文芸館	第18回 あすなろ青春文学賞 受賞作品展	令和6年3月3日(日) ～5月6日(月・祝)	当館の開館を記念して制定された「あすなろ青春文学賞」の受賞作品展です。	076-263-2444
金沢	金沢文芸館	五木寛之作『青春の門』 第二部 自立編 朗読会 (全8回)	令和6年5月12日(日) 令和6年6月9日(日)	小説『青春の門』自立編を朗読します。 朗 読：高輪 真知子(浅野川倶楽部代表) 時 間：14:00～15:00 場 所：金沢文芸館3F 文芸フロア 参加費：入館料100円(高校生以下無料) 定 員：20名 申 込：電話(4/10(水)受付開始)	076-263-2444

利用施設情報 ー展示・イベントのご案内ー

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
金沢	金沢湯涌夢二館	企画展 夢二の新聞小説 「秘葉紫雪」	令和6年1月20日(土) ～4月21日(日) 9:00～17:30 入館は17:00まで	本展覧会では夢二の絵入小説「秘葉紫雪」を中心に、物語の舞台である会津若松や金沢と夢二の縁等について紹介します。 休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）	076-235-1112
金沢	金沢湯涌夢二館	企画展 夢二の絵入新聞小説 「風のやうに」 ーストーリーのある 夢二式美人画ー	令和6年4月27日(土) ～8月25日(日) 9:00～17:30 入館は17:00まで	本展覧会では、竹久夢二が大正13年に新聞連載した絵入小説「風のやうに」を紹介。あわせて挿絵の類似作品も展示。挿絵の各場面にあわせ、憂い顔で思案する女性や手や袖で顔を覆う女性など夢二が好んだ女性の姿をはじめ、都会のカフェや舞台上で歌い踊る役者の姿など近代的な娯楽を描いた作品も展示します。	076-235-1112
金沢	金沢湯涌夢二館	ギャラリートーク	令和6年5月4日(土) 令和6年6月1日(土)	当館の館長または学芸員が、企画展の見どころを解説します。 各日14:00～（約30分程度） ※申込不要	076-235-1112
金沢	金沢湯涌夢二館	わくわくスタンプラリー	毎月 8・9・18・19・28・29日 （休館日を除く）	8・9のつく日は、わくわくスタンプラリーの日です。館内に設置されているスタンプを3つ集めた方に、オリジナルカレンダーをプレゼントします。（休館日は実施致しません。） ※休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）、展示替期間、年末年始	076-235-1112
金沢	石川県金沢城・兼六園管理事務所	兼六園無料開園&金沢城・兼六園観桜期ライトアップ	令和6年4月上旬（予定） ※1週間程度 7:00～21:30 （ライトアップは日没から21:30）	観桜期に合わせて兼六園の無料開園、金沢城公園・兼六園の開園時間延長し、ライトアップ実施 会場：金沢城公園・兼六園	076-234-3800
金沢	石川県金沢城・兼六園管理事務所	重要文化財の特別公開	令和6年4月～6月 毎週土・日・祝や観桜期、行楽期 9:30～15:30	国指定 重要文化財「石川門」「三十間長屋」の内部公開。 ※鶴丸倉庫は能登半島地震の影響により当面特別公開は行いません。 無料 会場：金沢城公園	076-234-3800
金沢	石川県金沢城・兼六園管理事務所	金沢城公園 夜間開園	令和6年4月～6月 毎週土曜日及び指定日 日没から21:00	門や櫓、石垣等の城郭建造物と音楽に合わせて色変わりする玉泉院丸庭園のライトアップ 無料 会場：金沢城公園	076-234-3800
金沢	石川県金沢城・兼六園管理事務所	兼六園開園150周年記念	令和6年5月7日(火)	兼六園は5月7日、開園150周年を迎えます。当日は入園料を無料とするほか、さまざまな催しを行います。 詳細は公式HPにて 会場：兼六園	076-234-3800
金沢	鈴木大拙館	企画展 「鈴木大拙館たより」	令和6年3月16日(土) ～4月21日(日)	「鈴木大拙館」のリニューアルオープンを記念して、賛助会員向けに刊行されてきた館報「鈴木大拙館たより」を紹介する。	076-221-8011
金沢	鈴木大拙館	企画展 「2024・春 大拙と語る」	令和6年4月26日(金) ～7月21日(日)	—	076-221-8011
金沢	徳田秋聲記念館	企画展 「レコオドと私 ～秋聲の聴いた音楽～」 vol.2	令和6年3月16日(土) ～7月20日(土) 9:30～17:00 （入館は16:30まで）	秋聲が好み、作品に描き込んだ音楽について紹介する企画展の第二弾です。豊竹呂昇の義太夫に始まり、松井須磨子、三浦環、田谷力三ら日本の俳優・歌手による歌曲、ジンパリストやガルドニラ海外の演奏家によるクラシックの名曲など。それらを迎れば、明治から昭和にかけて秋聲が体感した日本における西洋音楽受容の過程を部分的に追うことができます。著作のほか、秋聲愛用の蓄音器やSPレコードもまじえて展示します。	076-251-4300
金沢	徳田秋聲記念館	徳田秋聲記念館 ギャラリートーク	令和6年4月6日(土) 令和6年5月4日(土・祝) 令和6年6月1日(土)	学芸員による企画展の展示解説を行います。 1日2回 11:00～/14:00～（各回40分程度）	076-251-4300
金沢	徳田秋聲記念館	企画展記念イベント 「秋聲と三味線・金沢昔語り」	令和6年4月13日(土) 15:30～16:30	企画展「レコオドと私～秋聲の聴いた音楽～vol.2」にあわせ、秋聲が聴いた小唄・端唄など代表曲を三味線の演奏で、また関連する秋聲作品を朗読でご鑑賞ください。 出演：語り 玉井 明日子（昔話語り手） 三味線 千本 民枝（金沢千扇会会主） 場所：徳田秋聲記念館 定員：25名程度 費用：500円 申込：3月16日(土) 9:30より記念館にて電話受付（076-251-4300） 備考：会場の都合上、15時以降、本イベント参加者以外ご入館いただけません。	076-251-4300

利用施設情報 — 展示・イベントのご案内 —

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
金沢	徳田秋聲記念館	企画展記念講演 「音楽から出会う 近代の作家たち —夏目漱石、芥川龍之介、 堀辰雄らを話題にのせて—」	令和6年6月15日(土) 14:00~16:00	「レコードと私〜秋聲の聴いた音楽〜」vol.2 にちなみ、秋聲と同時代の文士たちの音楽受容の背景やレコードとの接点について解説する記念講演です。 場 所：徳田秋聲記念館 2F 文学サロン 講 師：庄司 達也 (横浜市立大学教授) 定 員：30名 参加費：観覧料のみ (一般 310 円、65 歳以上 210 円、高校生以下無料) 申 込：5月上旬より記念館にて電話受付 (076-251-4300)	076-251-4300
金沢	長町友禅館	本友禅による彩色体験	通年	工房ならではの可能な本友禅体験	076-264-2811
金沢	西田家庭園玉泉園	茶筌振り体験	通年 11:00~ 14:00~	お点前付、茶筌振り体験ができます。 ●茶道体験コース 2,300 円 お点前付(吉はし製上生菓子)+茶筌振り(御干菓子付き) ※入園料別途 700 円要 ※3 日前までの要予約	076-221-0181
金沢	前田土佐守家資料館	企画展 「行くも帰るも 123 里 〜前田土佐守家当主 江戸への旅〜」	令和6年4月27日(土) 〜7月7日(日)	休 館 日：令和6年4月22日(月)〜4月26日(金) 解説講座：令和6年5月18日(土)、6月9日(日)	076-233-1561
金沢	室生犀星記念館	企画展 「むかし、女、ありけり —犀星の王朝小説—」	令和6年3月2日(土) 〜7月7日(日)	昭和15年に発表した「荻吹く歌」を皮切りに、戦中から戦後にかけて室生犀星は「伊勢物語」「大和物語」などの平安王朝文学に着想を得た小説を次々と発表し、犀星独特の王朝世界を繰り広げました。また晩年には舞台化・映画化もされた「舌を噛み切った女」や野間文芸賞を受賞した「かげろふの日記遺文」など、完成度の高い円熟した王朝文学を描きました。本展示では40編以上にのぼる犀星の王朝文学の世界を紹介します。	076-245-1108
金沢	室生犀星記念館	講演会 古典の受容と新生 —「かげろふの日記遺文」 を中心に—	令和6年5月25日(土) 14:00~16:00 (講演時間90分)	講 師 上田正行氏 (金沢大学名誉教授・前館長) 場 所 室生犀星記念館 参加費 入館料のみ 定 員 40名 (要電話予約・先着順) 予約受付 室生犀星記念館 076-245-1108	076-245-1108
金沢	加賀本多博物館	春季特別展 「前田家の姫君 —寿々姫のお輿入れ—」	令和6年3月8日(金) 〜6月11日(火)	「加賀八家」として加賀藩で別格の扱いを受けていた加賀本多家には、藩主・前田家の姫君のお輿入れが二度ありました。このうち、加賀本多家九代当主・本多政和へ嫁いだ寿々姫(十二代藩主・前田斉広の七女)の豪華絢爛な調度品の数々を展示します。	076-261-0500
金沢	金沢くらしの博物館	企画展 「ひな飾り展〜内裏びな〜」	令和6年2月10日(土) 〜4月7日(日) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)	女の子の成長を願う「おひな様」。古くは高さが30センチ近い大きな「お内裏様」と「おひな様」が飾られました。同時に小さい物も作られ、しだいに主流になります。そんなおひな様の移り変わりを紹介します。また常設展示室にも七段飾りなどを飾りますので、館内に合わせて約200点のひな人形が並びます。 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-222-5740
金沢	金沢くらしの博物館	企画展 「端午の節句展 〜座敷のぼり〜」	令和6年4月13日(土) 〜6月2日(日) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)	男の子の成長を祝う端午の節句の五月人形は、武将のように立派に育つようにとの願いがこめられていました。その中でも「座敷のぼり」は様々な武将に由来する道具などを並べ立てるもので、かつて五月人形と一緒に飾りました。今回はこれらの飾り物の由来や武将絵の変化などを中心に、現在主流となった「両立のぼり」と合わせて紹介します。 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-222-5740
金沢	谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館	第8回企画展 「谷口吉郎と みんながつくった建築」 —藤村記念堂と徳田秋聲文学 碑、そして博物館明治村—	令和5年12月10日(日) 〜令和6年6月2日(日) 9:30~17:00 (観覧受付は16:30まで)	本展は多くの人々と一緒に取り組んだ谷口吉郎の3作品を紹介。	076-247-3031
金沢	金沢湯涌江戸村	「一針、一張り、一針」 プロジェクト	令和6年4月13日(土) 10:00~17:00 (昼頃1時間休憩あり)	和傘の製作工程のうち「つなぎ」「張り」「かがり」の3つの工程のいずれかの作業の実演および製作の体験ができます。 ①つなぎ：ロクロと小骨や親骨を一人あたり数本つなぐ。 ②張 り：つなぎを終えた傘骨に実際に和紙を張る作業を一人一枚張る。 ③かがり：かがり糸を縫っていく作業を体験。同時に定期的に開催している和傘製作実演も行う。 職人による実演もありますので見学だけでも可能です。 【所要時間】5~10分程度 【申 込】不要	076-235-1267

利用施設情報 — 展示・イベントのご案内 —

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
金沢	金沢湯涌江戸村	和傘の花	令和6年4月29日(月・祝) ～6月30日(日) 9:00～17:30 (最終日は12:00まで)	金沢の町家に和傘が華やかに広がります。光りを通して感じる和傘の彩りをお楽しみください。 【場所】：旧山川家	076-235-1267
金沢	金沢湯涌江戸村	江戸からくり	令和6年5月4日(土・祝)、 5日(日・祝) 10:00～16:00 (昼頃1時間休憩あり)	からくり人形の実演と解説です。物が動くことが当たり前ではなかった時代に、様々な工夫により造られている「からくり人形」を体験してみましょう。どうして動くのか、からくりの仕組みをじっくり観察してみてください。 【場所】：旧石倉家 【実演】：寺西 一栄	076-235-1267
金沢	金沢湯涌江戸村	紙漉き体験	令和6年5月4日(土・祝)、 5日(日・祝) 10:00～15:00	ポストカードや富士山型のカードを作ります。江戸時代に建てられた紙漉きの茅葺き民家で、和紙作りを体験しましょう。 【場所】：旧園田家 【参加費】：ポストカード2枚300円 富士山カード1枚300円 【申込み】：不要	076-235-1267
金沢	武家屋敷 寺島蔵人邸	春季展 「寺島家伝来の名品」	令和6年3月30日(金) ～6月24日(月) 9:30～17:00 (入館は16:30まで)	—	076-224-2789
金沢	武家屋敷 寺島蔵人邸	～四季の庭園・音楽鑑賞会～ 「邦楽演奏会」	令和6年4月12日(金) 1回目 13:30～14:30 2回目 15:00～16:00	庭園を背景に琴と尺八、三味線の邦楽演奏会。 優雅なひとときをお過ごしください。 定員：各回25名 申込：3月20日(水)9:30～ 電話申込受付開始 参加費：500円	076-224-2789
金沢	武家屋敷 寺島蔵人邸	「春の宵 ドウダンツツジの ライトアップ」2日間限定	令和6年4月19日(金) ～20日(土) 18:00～20:00 (入館は19:30まで)	ドウダンツツジのライトアップを2日間限定開催。 普段と一味違う幻想的な夜の庭園を楽しんでください。	076-224-2789
金沢	武家屋敷 寺島蔵人邸	庭園解説講座	令和6年6月中旬	定員：25名 申込：電話にて受付申込開始日は未定 参加費：500円	076-224-2789
金沢	石川県西田幾多郎 記念哲学館	企画展 「図書館社会教育の実践者 —西田幾多郎の弟子、 中田邦造—」	令和6年3月26日(火) ～9月29日(日)	京都帝国大学で西田幾多郎から哲学を学び、西田の故郷・石川県で県立図書館長になった中田邦造（なかだ・くにぞう/1897-1956）。農村部の青少年を対象に読書学級や青少年文庫を立ち上げ、郷土資料の保存に注力するなど、図書館社会教育の実践者として、日本の図書館界に大きな功績を残しました。西田幾多郎との関係性を中心に、その足跡をたどります。	076-283-6600
< 加賀地域 >					
加賀	いしかわ動物園	特別展 「サンショウウオ」	令和6年2月28日(水) ～5月13日(月)	不思議な生態をもつサンショウウオの世界を探検します。 サンショウウオの名前の由来や生態を紹介するかたわら、能登半島と富山県の一部だけに生息するホクリクサンショウウオについて詳しく解説しています。また、希少なサンショウウオを守るための取り組みや、オリジナルのサンショウウオカードがもらえる体験コーナーもあります。 動物学習センター	0761-51-8500
加賀	いしかわ動物園	開園25周年記念特別展(第一部) 「～もう一度会いたい あのコ～」	令和6年5月22日(水) ～7月31日(水)	カバの「デカ」やチンパンジーの「イチロー」「メロン」など、お星さまになった当園の名物動物や、コビトカバの「ミライ」やグレビーシマウマの「ココロ」など、当園で生まれて他園に旅立った動物たちを振り返ります。 動物学習センター	0761-51-8500
加賀	加賀 伝統工芸村 ゆのくにの森	アンブレラスカイ	令和6年3月～11月末	恒例のアンブレラスカイを2024年も開催します。 晴れた日の午前中がおすすめです。	0761-65-3456
加賀	小松市立本陣記念美術館	2024年北陸新幹線小松駅開業記念 特別展「長谷川町子がやってきた」 「町子のかぶき案内」	令和6年3月9日(土) ～5月26日(日)	サザエさんで知られる長谷川町子は、週1度は歌舞伎座へ通う程の歌舞伎通であり、旅好き、そして姉とともに美術品の収集家でもありました。町子姉妹が収集したコレクション約900点の中から、歌舞伎や芸能にまつわる作品を紹介。また、歌舞伎を題材とした漫画原画などを宮本三郎美術館とともに特別公開する展覧会。 休館日：月曜日（4月29日、5月6日は開館）、4月30日、5月7日	0761-22-3384

利用施設情報 ー展示・イベントのご案内ー

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
加賀	小松市立本陣記念美術館	企画展 「うるわし・うるわしい の美術」	令和6年6月15日(土) ～9月23日(月・祝)	うるわしいにはたくさんの意味があります。漢字では「美しい・美しい・愛しい」。意味は、端正である、立派である、整っていい美しい、きれいである、見事である、晴れやかである、愛すべきである、かわいい、いとしい、正真正銘である、まちがいない。また、奈良・平安時代の記述では、うるわしが、事物が乱れたところなく完全にととのっている状態を表していました。本展では“うるわし、うるわしい”をキーワードに厳選された作品群を紹介します。 休館日：月曜日	0761-22-3384
加賀	小松市立宮本三郎美術館	2024年北陸新幹線小松駅開業記念特別展 「長谷川町子がやってきた」	令和6年3月9日(土) ～5月26日(日)	「ザゲエさん」の作者・長谷川町子は、毎月歌舞伎を観に行く歌舞伎通。子ども歌舞伎で知られる石川県小松市で町子の「かぶき」の世界を紹介。	0761-20-3600
加賀	小松市立錦窯展示館	企画展 「町家でひなまつり」	令和6年4月14日(日)まで	初代から三代徳田八十吉の陶房跡であり、三代・四代の生家である町家を改修した錦窯展示館に雛飾りを展示します。歴代八十吉の名品とともに、節句を祝う華やかな町家をお楽しみください。	0761-23-2668
加賀	小松市立錦窯展示館	企画展 「端午の節句飾り」	令和6年4月20日(土) ～5月26日(日)	端午の節句にちなんだ飾りや作品を展示します。歴代徳田八十吉の名品とともに楽しみください。	0761-23-2668
加賀	サイエンスヒルズこまつ	人間 VS ロボット チアリーディング対決 村田製作所ロボットショー& 金沢大学チアリーディング部 GREEN APPLES	令和6年4月7日(日)	村田製作所チアリーディング部は、ボールに乗って動きます。「倒れそうで倒れない」バランスと「ぶつかりそうでぶつからない」チームワークを可能にしているテクノロジーを紹介します。 時 間：村田製作所ロボットショー 10:00/11:00/13:00/14:00～ 各20分 金沢大学チアリーディング部 GREEN APPLES 11:25/13:25～ 各10分 定 員：各回100名程度 参加費：無料 申 込：不要	0761-22-8610
加賀	サイエンスヒルズこまつ	南極・昭和基地 ライブトーク	令和6年4月20日(土) 15:00～15:50	現地の南極地域観測隊員と生中継。基地内や現地での活動を紹介しします。 定 員：各回60名程度 参加費：100円 申 込：当日受付・先着順	0761-22-8610
加賀	サイエンスヒルズこまつ	サイエンスマジックショー	令和6年5月3日(金・祝) ～6日(月・祝)	あつと驚く現象を紹介後、タネアカシをします。 時 間：10:00/11:00/13:00/14:00～ 各30分 定 員：各回60名程度 参加費：100円 申 込：当日受付・先着順	0761-22-8610
加賀	サイエンスヒルズこまつ	ホテルの観察会	令和6年6月8日(土) ・9日(日)・15日(土) ・16日(日) 19:30～20:30	定 員：各回15家族程度 参加費：1000円/家族 申 込：事前申込・先着順 場 所：小松市大野町滝浪神社前・JA4小松市の倉庫駐車場 (現地集合・現地解散)	0761-22-8610
加賀	石川県立尾小屋鉱山資料館	尾小屋鉱山イベントデー	令和6年5月4日(土・祝) 令和6年6月23日(日)	① マインロード トロッコ体験乗車会 (要入館料) 「尾小屋マインロード」内を鉱山電車 (= トロッコ) に乗車して見学します。 【時間】10:00～12:00/13:00～15:00 尾小屋鉱山資料館に入館の方に整理券を配布します。 ② 汽ボッポ自動車展示館「キハ3とトロッコ車体験乗車会」(無料) キハ3と鉱山電車 (= トロッコ) に乗車できます。小さいお子さんから年配の方まで、どなたでも無料で参加できます。 【時間】キハ3：10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00 鉱山電車：随時 ③ カラミ見学会 (参加無料) NPO法人の案内で尾小屋の町を歩いて見学します。 【時間】10:00～11:00	0761-67-1122
加賀	石川県立尾小屋鉱山資料館	常設展	令和6年9月8日(日)まで	「石川県立尾小屋鉱山資料館」では、尾小屋鉱山の歴史、技術、暮らし、尾小屋で採れた鉱物の標本などを展示しています。「尾小屋マインロード」は実際に使われていた坑道を利用したもので、採鉱や運搬の様子などの再現しており、鉱山稼働当時の坑道内の様子を肌で感じることができます。	0761-67-1122
加賀	石川県九谷焼美術館	企画展 第13回九谷焼伝統工芸士会 作品展	令和6年2月3日(土) ～5月12日(日)	「九谷焼伝統工芸士会」の作品展 (企画展示室のみ無料)	0761-72-7466

利用施設情報 ー展示・イベントのご案内ー

令和6年度 春

地域	施設名	企画展名	開催時期	見どころ等	TEL
加賀	石川県九谷焼美術館	企画展 第47回伝統九谷焼工芸展・ 選抜加賀展	令和6年5月18日(土) ～7月21日(日)	石川県指定無形文化財保持団体「九谷焼技術保存会」主催の現代九谷の公募展	0761-72-7466
加賀	加賀市美術館	常設展 「いまよみがえる 加賀江沼の美術」	通年	当館の所蔵品を中心に、選りすぐりの逸品を展示。郷土ゆかりの作家たちの作品と魅力を紹介します。	0761-72-8787
加賀	魯山人寓居跡 いろは草庵	魯山人の仕事 ー筆致の美ー	令和6年3月28日(木) ～10月22日(火) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)	自然を師とし、優れた古陶磁を益友とした魯山人が目指したのは、日々の暮らしに美があることでした。美の探求こそが、制作の原動力になっていました。 魯山人の芸術は書が原点であり、基礎になっています。時に鋭く、時に大らかに心のままに描かれた線は、魯山人の当意妙即を表しているようです。 主な展示作品 ・刻字看板「吉野屋」1点・陶磁器 6点 ・絵画 4点(※作品は一部展示替えがあります。) 休館日：水曜日(祝日・年末年始を除く)	0761-77-7111
<白山地域>					
白山	石川県ふれあい昆虫館	企画展 「学芸員のおしごと ～渡部晃平編～」	令和6年2月28日(水) ～6月3日(月)	水生昆虫の飼育をしている学芸員が昆虫館のおしごとについて紹介します。	076-272-3417
白山	石川県ふれあい昆虫館	季節展示 「身近な虫を 飼育してみよう！」	令和6年3月1日(金) ～5月6日(月)	チョウやカマキリなど身近な虫たちの飼育法について解説するほか、イベントやこん虫遊具が楽しめます。	076-272-3417
白山	石川県ふれあい昆虫館	企画展 「チョウの秘密」	令和6年6月19日(水) ～11月18日(月)	石川県で見られるチョウ全種を展示するほか、チョウの体内についても紹介します。	076-272-3417
白山	千代女の里俳句館	館蔵品展 「千代女をとりまく人々」	令和6年3月30日(土) ～5月19日(日) 9:00～17:00 (入室は16:30まで)	千代女と交流のあった人々について、作品や関連資料を通して紹介します。 ※休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-276-0819
白山	千代女の里俳句館	企画展 「俳句と写真展」	令和6年6月8日(土) ～8月4日(日) 9:00～17:00 (入室は16:30まで)	写真と俳句を組み合わせた写真俳句作品を展示。 ※休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)	076-276-0819
白山	白山市立博物館	企画展 「街道をめぐる ー湊廻り往来と北国街道ー」	令和6年5月17日(金) ～7月6日(土)	白山市内には北国街道(上街道)がとおり、手取川増水時には、迂回路として湊廻り往来が利用されました。多くの人々が行き交い賑わいを見せた江戸時代の街道や宿場、往来をめぐる資料を展示します。 1階 特別展示室	076-275-8922
白山	白山市立 松任中川一政記念美術館	2024 春季テーマ展 「中川一政の薔薇 ー明日への眼差しー」	令和6年2月27日(火) ～5月26日(日)	中川一政が最晩年まで描き続けた〈薔薇〉作品を中心に紹介します。	076-275-7532
白山	白山市立 松任中川一政記念美術館	2024 夏季テーマ展 「中川一政の向日葵 ーフォルムとムーヴマンー」	令和6年5月28日(火) ～9月1日(日)	中川一政の〈向日葵〉作品から、彼が表現したムーヴマン(感動)を紹介します。	076-275-7532